

# 住みよさ実感

瀬戸内交流文化都市 たけはら

受験でいら立っていた時も、悩みを聞き、支えてくれた先生、お父さん、お母さん。心から感謝しています。



3月12日、市内中学校で卒業式が行われました。吉名中学校では、先生、在校生、保護者に見守られ、23人の卒業生が母校を旅立ちました。未来ある若者たちが、中学校に別れを告げ、思い出を胸に、新しい一歩を踏み出します。

「甘えに気づかず、受験でいら立っていた時、先生やお父さん、お母さんが悩みを聞き、支えてくれました。心から感謝しています。」  
これは、上田将翔くんの答辞の言葉です。先生やお父さん、お母さんへの感謝の気持ちを口にしたらとたん、堪えていた涙があふれ出しました。他の卒業生も、こぼれ落ちる涙をぬぐっていました。  
中学校生活で様々な悩みや葛藤を抱えながら、それでも少しずつ前進できたのは、温かく見守ってくれた人たちが周りにいたから。そんな思いを、卒業生全員が感じているのかもしれませんが、担任の笹原法義先生と別れを惜

しむ卒業生の姿がありました。先生が、  
「卒業式前、後は君たちがやるのを待つだけという思いでいました。今日の卒業式、しっかりやってくれて、本当にすばらしかった！」  
と涙ながらに卒業生の頑張りをほめると、卒業生からは、感謝の気持ちが進められた先生の名前入りの垂幕メッセージが送られました。  
さっさーの  
さりげない優しさが最高だ  
はながわかる  
らっかん的な僕たち  
の  
りかいしゃだった  
よし中で一番  
しんらいでできる先生でした

先生と生徒の信頼関係が伝わってきます。卒業生の中には、「お父さんみたいな先生」という生徒もいました。先生にとつて、とても嬉しい言葉なのではないでしょうか。  
学活が終わり、在校生に見守られる中、校門で別れのあいさつを交わす卒業生の顔は、晴れやかでした。その一人、榮谷実佳さんは、  
「卒業するんだと実感がわいてきました。高校が離れて友達と会えなくなるのは寂しいけれど、頑張りたいです。」  
と話します。  
中学校を去り、新生活に向かう卒業生。その背中が、とても頼もしく感じられました。

## ●市政発展のためのご意見などをお寄せください



郵便 〒725-8666 (住所不要) 竹原市企画政策課「市長への私の提案」係

FAX 22-0998

※電子メールでも受け付けています。市ホームページ「市長の部屋」から送信できます。いただいたご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただきます。

## ティータイム



先月の3連休にドライブに行ってきました。天気もよかったので、公園など行く先々には多くの人たち。暖かくなってきたので、考えることは一緒だなと感じました。

## 人のうき

(住民基本台帳登録者数)

人口	29,646人
男	13,975人
女	15,671人
	12,959世帯
1年前	29,952人
5年前	31,511人

- 3月1日現在 -